

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	平成 29 年度 第 3 回 嬉野市総合計画審議会		
開催日時	平成 2 9 年 1 0 月 2 3 日(月) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3 階 3 - 2, 3 会議室		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	戸田順一郎、山口健一郎、山口千鶴、坂口典子、永松万一郎、久保二三子、森真佐子、諸上栄大、谷山佳世	
	事務局	企画政策課長、副課長、主査、主事	
	その他		
会議の議題	① 【基本構想】【基本計画】の構成について説明 ② 将来像について議論 ③ 分野横断的戦略(プロジェクト)について説明 ④ 【基本計画】について		
配布資料	① 総合計画の体系図 ② 「序論・基本構想」(案) ③ 「基本計画(分野別政策)」(案)		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 【基本構想】【基本計画】の構成について 2. 将来像について 3. 分野横断的戦略（プロジェクト）について 4. 【基本計画】について		
内 容	事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	1. 【基本構想】【基本計画】の構成について資料により説明 ・項目ごとの内容については、議題ごとに説明 2. 将来像について込める想いを含めて説明し、協議 案1「歓声が響きあう 嬉野市」 案2「“ほっと”な笑顔が繋がる 嬉野市」	
	委員会 事務局	・第1案を基に「歓声」をキーワードに入れることで決定する。 ・次回の会議に再度、確認する。 ・「繋がる」については、基本目標の4つのどれかに入れるようにしたい。	
	事務局	・総合計画の通称・タイトルを「うれしのやさしさプラン」としたい。 弱い人の立場に立った計画ということで、このような通称を考えた。 より身近な存在になるように通称を付けたい。	
	委員 事務局	・このことをどこかに書き込むのか。 ・どこかに書き込むようにしたい。	
	委員	・基本目標の表現・表記において「を」入れたり、入れなかったしているは何故か。	
	事務局	・印象、見た感じで伝わりやすいように表現している。 ・吹き出しについても、文法にこだわらずに、柔らかく表現するようにキャッチを入れている。 ・レイアウトや見栄え、見出しなども含め、これから整えたい。	
	事務局 委員	・基本目標に「繋がる」をどのように入れるかを検討してほしい。 ・「次の世代に <u>繋がる</u> ～」、「支え合う喜びが <u>繋がる</u> まち」、「 <u>絆で繋がる</u> おもてなしのまち」など	
	事務局	・次回、修正したものを再度提案し、確認したい。	
	委員	・「人」輝き活力あふれるまちについては、福祉分野で考えるとリタイヤした方が社会へ戻るという意味からも重要なポイントと思う。文章に「いつの世代でも輝ける」を入れてはいかがか。	
	委員	・文章はどの立場で書くようになるのか。行政なのか、市民なのか。表現も「いきます」と「いきましょう」で違うのではなのか。私たちの決意の「私たち」は誰になるのか。	

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の計画ではなく、市民・地域、市全体の計画としている。 ・後で協議していただくが、基本計画の中に市民一人ひとり、地域・団体・企業、行政のそれぞれの役割を記載することとしている。この部分はこれまでになかったもので、行政だけでなく、自立あるまちづくりにもつながっている。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の4つのそれぞれの裏側にある政策がどうなっているのか。 ・体系図で見ると実現の方針として、まちづくりの基本方針（政策展開の方針）に1本でつながっている。それが実現のための施策展開・基本計画となる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「支え合う喜びが広がるまち」の文章に「おもてなしの心」という表記を入れてはどうか。観光で訪れた方にもやさしいまちとして迎えることができる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「支え合う喜びが広がるまち」を読んだとき、安心した老後が得られる。隣近所で支え合うのだ。と思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自助共助の「共助」と思っている。高齢者のことだけではないと思う。どんな人でもということではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「支え合う」と「おもてなし」を使い、表記したい。この項目では「繋がる」は使わず、修正したものを次回提案し、確認したい。
事務局	<p>3. 分野横断的戦略（プロジェクト）まちづくりの基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断的、重点的な戦略として4つのプロジェクトを考えている。これは目的に応じて、人口減少、高齢化、国際化、ひとにやさしい分野を横断して取り組むものを掲げている。 ・総合的、計画的な分野別政策として6分野に分けて掲げている。 ・これらの方針の表記内容について、意見をいただきたい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・分野横断プロジェクトのねらい、得られるものは何か。 ・これを見ていただくことで、この4つのプロジェクトを積極的に行うもの。これからの時代に対応するために重点的に取り組むことの意味表示であると思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そうということは、この4つのプロジェクトごとに具体的な取り組み・施策が別々の担当で並ぶということにあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・「うれしの創生プロジェクト」は、平成26年10月に作成した総合戦略との連携を図るために入れている。そのほかのプロジェクトは市の重要課題として横断的に取り組むものを示している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りではなく、組織を超えて取り組む重要なプロジェクトということか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・図で示す場合、分野別と横断プロジェクトは次元が違うこと。同等ではないものということをきちんと分けて示した方が分かりやすいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国が進めている構想を参考に作成しているので、再度確認する。 ・ここまでの話を踏まえて、次回内容を協議いただきたい。
事務局	<p>4. 基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとに現状と課題、施策展開、そしてそれぞれの役割を記載している。グループ分けをして協議していただきたい。役割について意見をいただきたい。記載は案である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が考えるのではなく、委員の皆さんに「一人ひとりの役割」そ

	<p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>して所属の「地域・団体・企業の役割」を考えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議で協議していただくことになる。それまでに考えてほしい。 ・ 数値目標（K P I）についても入れるかどうか、検討をお願いしたいと思っている。 ・ 総合戦略には国から入れるように指示があった。P D C Aサイクルで検証する。入れる場合どのような数値がよいのか。成果目標としてどのようなものがよいかを次回協議していただきたい。
<p>その他</p>	<p>なし</p>	